

ID	話者	台詞 / ト書き
		//水着イベント会場(場所はどこでもよい)
	コウヘイ	くー、やっぱ強いな！ 僕じゃまだまだ相手にならないか。
	キョータロー	さすがに付け焼き刃のチームじゃ 勝てないか……。 いい線いってたんだけどなあ。
	ジR	確かにいい勝負だったが、 敗因は明確だぞキョータロー。 お前たちがACTに見惚れたからだ。
	彩十	あー、そいつの言うとおりでせよ。 お前らどっちも、 リムとメンテルばっか見てたろ。
	キョータロー	いや、だって……。なあ？
	コウヘイ	そうさ。お気に入りキャラが 水着で飛んだり跳ねたりしたら、 そっちを見る。誰だって見る。
	コウヘイ	このイベントの真骨頂を知ったよ。 水着キャラが戦う姿って、 こんなに背德的だなんてね！
	コウヘイ	はみ出さないのはわかってる。 だがどうしてもはそれを 期待する自分がいて……。！
	キョータロー	わかるぞ、コウヘイ。 少しでもそう思うと、 目で追っっちゃうよな！
	コウヘイ	ポロリなんて死語中の死語だと 思ってたけど……。 永久不滅の概念だよ、あれは。
	ジR	……。情けないぞ、キョータロー。 そんなことで心乱されては、 正義の使者にはほど遠い。
	リム	しょーがないよジR。 これが、オトコノサガ？ ってやつらしいよ〜。
	ジR	だ、だが……。 その気持ちを律してこそ！
	彩十	グダグダ言わずに、 少しは肩の力を抜けよ。 今日は無礼講なんだからよ？
	ジR	肩の力と言われてもな……。 私は、どうもそういうのが苦手だ。
	リム	あはは、ジRったら真面目〜。 まるで頑固なおじいちゃんみたいね！
	メンテル	柔軟な考えかたを 身につけてもよろしいかと。 ユーザーも疲労しますよ。
	ジR	む、むう……。努力はしてみよう。
	キョータロー	おーいジR、今回ばかりは お前の分が悪いぞ。

	コウヘイ	ははっ。僕が使うACTは、僕に似て空気を読める優秀な子たちだからね！
	コウヘイ	おっと、そろそろ行かなきゃ。このあと、水着自作ユーザー専門の品評オフ会があるんでね。
	キョータロー	お、おう……なにやら業が深い催しだな……。じゃ、ここでお別れか。
	コウヘイ	ああ。君たちと会ったことはみんなにも伝えとく。それじゃ、またどこかで！
	メンテル	みなさん、またコウヘイと遊んでやってくださいね。
	リム	みんな、じゃ～ね～！また一緒に遊ぼう！ 約束だよ！
	キョータロー	……意外な相手と会えてよかったな【ユーザー名】。いい夏になりそうじゃねーか。
	キョータロー	だけだよ……。なんか足りねー気もするよな。
	キョータロー	やっぱり、どうしても考えちまう。あいつが今ここにいたら、お前と何を話すのかってよ……。
	キョータロー	お前だって、男の俺とぼっか歩いててもつまないだろ？
		A そんなことないよ B 一緒だと楽しい
	選択肢A	そんなことないよ
	キョータロー	無理すんなって。前向きなのはいいけどよ、嘘つく必要はねーから。
	選択肢B	一緒だと楽しい
	キョータロー	……あのなあ。面と向かってそれ言えんの、お前のヤベーとこだぞ。
	合流	
	キョータロー	ま、俺でよけりゃいつでも付き合ってるさ。女の代わりにはなれねえけどさ。
	キョータロー	そうだ【ユーザー名】、一応女と言え、テルミも来てるって聞いてたか？
	キョータロー	あいつ、お前が構わないとへそ曲げそうだしな。気が向いたら会いに行っちゃれよな。

EX STAGE,レイヤードのヒロイン？ 3

話者	台詞 / ト書き
	■ イベント会場
テルミ	やっほ、【ユーザー一名】。 キミひとり？
テルミ	あたしもさっき来たところ。 女と並んで水着眺めるなんてビミョー だろーけど、少し付き合っよね。
エチカ	ねー【ユーザー一名】、 テルミが水着じゃなくて ガッカリしたしたー？
テルミ	こら、エチカ。 あたしの水着姿なんて 誰も望んでないっつもの。
クレア	他人の望みを勝手に 定義するのはアンフェアよ、 テルミイP。
テルミ	げっ、クレア姫……！ アンタも来てたの！？
クレア	オルタナステージのCTOに 招待されたの。 イベントで歌って欲しい、とね。
シレーナ	ニーズ、こちらに来なさい。 クレアが対話をしています。
ニーズヘッグ	なんだよシレーナ。 おまえがおれに指図すんな。
エチカ	シレーナシレーナー！ 歌姫なかまー！
シレーナ	久しぶりです、エチカ。 お元気そうでなによりです。
テルミ	……姫が、シレーナ以外の ACT使ってるの？ 珍しいじゃん。
テルミ	つか、ふたりとも水着だし。 マジに招待されたイベントで 歌うつもりなんだ？
クレア	ええ。ダンサー役のACTも DLしてみたのだけれど、 まだ扱いきれいでないわ。
ニーズヘッグ	なあクレア、まだはじまんねーの？ リハはもう飽きたー。 早く波乗りさせろよー。
シレーナ	ニーズ。 クレアの品格を貶める 言動は謹みなさい。
ニーズヘッグ	そっちのはエチカだっけ？ お前も早く遊びたいよな、 せっかくの夏なんだからさ！

エチカ	おーう？ テルミーテルミー、 これってナンバかなー？ エチカにも恋の予感ー？
テルミ	『にも』ってゆーなっ。 ……にしても、新ACTか。 なんか丸くなったね、クレア姫。
クレア	扇情的で、ベタなステージ。 昔の私であれば、このように安易な 演出はしなかったでしょうね。
クレア	まあ、さすがにこんな生意気で 素直ではない少年型のACTを 引くのは予想外だったけれど。
テルミ	案外ピッタリじゃん。 素直じゃない誰かさんのことを、 想像しすぎたんじゃないですかー？
エチカ	ですかですかー？ あおれあおれ、テルミー！
クレア	……少し見ない間に、 アグレッシブになったわね。 これも成長、と呼べるのかしら。
テルミ	ふんっ。 散々前にコケにされたもん、 こんぐらいはいいでしょ。
クレア	じゃあ、その成長した歌で、 私の舞台を手伝って。
テルミ	……は？
クレア	せっかくこの面子が揃ったのだから。 あのときのように、 私達で人々を惹きつけましょう。
クレア	それにトラブルシューターくん。 貴方を相手に、もう一度本気の ステージを試してみたかった。
テルミ	……つまり？ えっと、私とエチカに、 姫のサポートをしろと？
シレーナ	ダメでしょうか、テルミィP。
ニーズヘッグ	いい波が来てるみたいだし、 おまえらも乗ろーぜ！
エチカ	乗る乗るー！ エチカ、みんなと一緒に 楽しいステージやるー！
テルミ	エチカ、勝手に返事しないの！ 尻が軽い女だと思われるじゃん！
クレア	では今回は、その鉛のように 重い尻以外を当たるわ。 代わりの尻はいくらでも――。
テルミ	やんないなんて言っていないでしょ。 そんなに言うなら手伝っただけよ、 主演を食うつもりでさ！
クレア	よろしい。 では今回、シレーナは 歌に専念させましょう。
シレーナ	了解です、クレア。
クレア	……さあ、来なさい。 トラブルシューターくん。 せいぜい楽しませてね。
テルミ	……【ユーザー名】。 なんかヘンなことになっちゃったけど、 手は抜かないでよね！

話者	台詞 / ト書き
	//ニーズヘッグ&エチカとバトル
ニーズヘッグ	それにしても、エチカ。 チョロいな、お前のユーザー。
エチカ	それはエチカも否定しない。 さーて、エチカが先に 歌っちゃうよー！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■イベント会場
クレア	……なるほど。 頂点に立った者の実力は、 偽りじゃないよね。
テルミ	でしょ？ 姫がマゴマゴしてる間に、 彼も強くなったんだからね。
クレア	どうして負けておいて、 嬉しそうにしているのかしら。 Pとしての誇りが無いの？
テルミ	うっさい。こっちは本気だったし。 そっちがショボくなったんでしょ、 お姫様？
クレア	私のコンディションは万全。 敗因を数値的に分析するのなら、 貴方のヨソ見が9割ね。
テルミ	はあ？ そっちの不調が8割はいくでしょ、 ちゃんとACT使いこなしなよ！
ニーズヘッグ	面倒な女に囲まれてるなー、 【ユーザー名】。 かわいそー。
シレーナ	……せっかくのコラボなのに クレアがご迷惑をおかけします、 エチカ。
エチカ	いえいえー、こちらこそ。 思春期真っ只中のテルミが うるさくてごめんねー。
観衆	おーい、いいステージだったのに なにグダグダやってんだー？
ニーズヘッグ	なーおまえら、 せっかく盛り上がったのに ブーイング集まってきたぜ？
クレア	……ヴァルナカウンターに 配慮する必要がないとはいえ、 これ以上の口論は無益ね。
テルミ	う、うん。 今回はこのぐらいに しておこっか。
クレア	それじゃ、トラブルシューターくん。 また機会を作って、 一緒にステージに立ちましょう。
クレア	あるいは、クライアントとして 新しい案件をお願いすること なるかもしれないわね。
シレーナ	どちらにせよ、 近いうちにお目にかかりましょう。 さあニーズ、挨拶を。
ニーズヘッグ	おまえら、じゃーなー！ また夏が来たら、 一緒に遊ぼうぜ！
エチカ	シレーナ、ニーズ、 ばいばーい！
テルミ	はあ。 いつも急だし騒がしーよね、 ほんと……。

テルミ	ま、でもお疲れさま、クレア姫。 負けたけど、あたしも楽しかったよ。
クレア	そうね。まだまだ世界は楽しめる。 腕を磨きなさい、 私のライバルでありたいなら。
テルミ	は？
テルミ	今のって…… 姫があたしを、ライバルだって 認めてくれたってカイシヤク？
	A それ以外にないと思うよ B 仲良くなれたみたいだね
選択肢A	それ以外にないと思うよ
テルミ	や、やっぱそうかな……？ キミもそう思う？
テルミ	ったく、キョータローじゃあるまいし 去り際にハズいこと言うなっの、 バカ姫ッ。
選択肢B	仲良くなれたみたいだね
テルミ	はあ！？ 今の会話聞いてて、なんで そういう感想出てくの！？
テルミ	……でも、なにも知らない人からは そう見えたりもするのかな。 ご、誤解されたら困るんだけどな。
合流	
テルミ	……あ、ごめん。 置いてけぼりだよ、 【ユーザー名】。
テルミ	少しは、気分転換できた？ やっぱちょっとウザかったかな？
テルミ	こういう女だらけの、 騒がしいステージ——だからこそ、 あの子の感想が欲しかったね。
テルミ	……またごめん。 余計なことばっか言っちゃうな。
テルミ	さ、まだまだ時間はあるんだし、 もう少しイベント回ろうよ。 今日はいくらでも付き合うからさ。
エチカ	付き合うよ、付き合うよー。 エチカも、テルミ達と ずっと一緒だよー！
テルミ	アハ、ありがとねエチカ。 今日はいっぱい働かせてあげる。
テルミ	あ、そういえば、 【ユーザー名】。 ムツキには会った？
テルミ	ここ来る途中、 ムツキが暴れてるって ウワサ聞いちゃってさ。
テルミ	まだそっち行ってないなら、 顔出したら？ 面倒起こされても、 キミなら止められるしね。

EX STAGE,レイヤードのヒロイン？ 4

話者	台詞 / ト書き
	■ イベント会場
ニーナ	……【ユーザー名】。 こちらに来て。
ニーナ	多分、はじめまして、ではないと思う。 私は傭兵のニーナ。 『フィフスウォーズ』のキャラクター。
ニーナ	私の原典はミリタリーアニメ。 だけど今回は期間限定ACTという ミッションを与えられた。
ニーナ	この時間は、水着で貴方を支援する。 この場だけのDLだけど、 どうか、楽しんでいってほしい。
ニーナ	レイヤードの海を泳ぐか、戦うか。 それは貴方次第。 私は、貴方の命に従って――
観衆の声	おーっ！ いいぞいいぞ、もっとやれー！
	// 歓声のSE
ニーナ	――『ユーザー名』。 あちらで、歓声が上がった。 私は、あちらに行きたい。
ニーナ	【ユーザー名】、あそこ。 水着ACTが集中している。 あそこは楽しい、と判断できる。
	A ノリノリだね B ニーナってこんなキャラだっけ
選択肢A	ノリノリだね
ニーナ	ノリノリ？ 意味がわからない。 私は、傭兵のニーナ。
ニーナ	今は貴方を楽しませるのが任務。 捨て駒として使うなら、 それでも構わない。
選択肢B	ニーナってこんなキャラだっけ
ニーナ	私の人格は、一定。 状況に合わせて対応はできるが、 矛盾は発生していない。多分。

合流	
ムツキ	来たか【ユーザー名】。 待ちわびたぞ。
ニーナ	あれは、天渡ムツキ—— 貴方がかつて、アクトマキアの 頂点を争った相手。
ムツキ	ぬ？ そいつはニーナか。 ……貴様も、水着のACTを 使用していたのだな。
ムツキ	だが、いかに貴様が 水着ニーナにすぎらうと！ 今の私に勝てる道理はない！
ムツキ	出でよ！ 私の新しいACTよ！
ミシャラ	一生懸命、頑張ります！
イオン	イオン＝ミルナ、と 名乗らせていただきます、 【ユーザー名】さん。
ニーナ	……！？ あれは、アイドルのミシャラと、 イオン＝ミルナ！？
ニーナ	ミシャラはともかく、 イオンは—— 彼女のAIは、もう……。
ムツキ	ふふはっ、どうだ 【ユーザー名】よ。 絢爛な光景だろう。
ムツキ	この私、天渡ムツキはついに、 アイドルとヒロインの両輪を 自在に扱えるようになったのだ！
ミシャラ	なったんですよ、 【ユーザー名】さん！
イオン	はい、なりましたよ 【ユーザー名】さんっ。
ニーナ	……………。
ニーナ	【ユーザー名】。 やはり、この状況は 異状だと判断する。
ニーナ	オルタナステージの配信記録と、 彼女の言動が一致しない。 彼女は、貴方を——。
ニーナ	名前ではなく、 『ユーザーさん』と 呼称していたはず。
ムツキ	……ふん。さすがはミリタリーの キャラだな、ニーナ。 冷静な頭脳だ。
ムツキ	このミシャラとイオンは 正真正銘、私が使う、私のACT。 調べたいなら、戦うしかないぞ。
ムツキ	かかってくるがいい、 【ユーザー名】。
イオン	サービスで、私自身も相手になろう。 派手にやりましょうね、ムツキ。
ニーナ	……マスター。 状況を飲み込むには、 彼女を撃破する必要がある。
ムツキ	そうだ、来い。 ヒロインを取り戻したくば—— 進化した私のプロデュースを知れ！

イオン	イオン＝ミルナ、 真夏のヒロインを全うします！
-----	----------------------------

話者	台詞 / ト書き
	//イオン&ミシャラ&ベールムツキとのバトル
ムツキ	行くぞ、イオン、ミシャラ。 舞台は私が温めてやる。
ムツキ	私のヒロインと アイドルとして、 存分に魅力を発揮しろ！
イオン	いつでもいけます、ムツキ。 おー。
ミシャラ	おー！ 夏も張り切っちゃうよー！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■イベント会場
イオン	む……残念な結果です、ムツキ……。
ムツキ	……………。 変わらぬ腕だな、【ユーザー名】。
ムツキ	どうだった。 楽しめたか？ 刺激になったか？
ムツキ	……少しでも、 心は高揚しただろうか。
イオン	よいステージでしたか、 【ユーザー名】さん？
ニーナ	天渡ムツキ。 なにを考えている。
ニーナ	『彼女』が失われた理由を、 貴方も知っているはず。 貴方は、彼の心をもてあそぶの？
ミシャラ	違うよ～、ニーナ。 マネージャー……ムツキは、 彼を心配してるだけだよ！
ムツキ	止せ、ミシャラ。 そこまで言わなくてもいい。
ミシャラ	言うもん。ムツキは、 真摯なくせにカッコつけすぎるから 無敵だと誤解されるんだよ？
ミシャラ	あのね【ユーザー名】さん。 私は前にマネージャーが 注目されたとき、消されかけたんだ。
ミシャラ	だけどムツキは、そのときのイメージ も『ギャップ萌え』だって言って、
イオン	使ってくれたんですよ、 ミシャラ。
ニーナ	『ギャップ萌え』。 初耳だけど、興味深い言語。
ミシャラ	【ユーザー名】さん。 ACTは——コンテンツは、 生まれ変わるんだよ。
ミシャラ	私が生まれ変わったみたいに、 誰にだって、生まれ変わる力がある。 それがレイヤードの可能性なんだっ
ムツキ	……もういい、ミシャラ。 少し引っこんでいる。

ミシャラ	は〜い。 それじゃばいばい、 【ユーザー名】さん！
イオン	ミシャラ、さようならー。
ムツキ	全く、ミシャラめ。 勝手にしゃしゃり出てくるとは、 育成方針を間違えたか。
ムツキ	だが【ユーザー名】よ。 ミシャラの最後の言葉は、事実だ。
ニーナ	……ACTが、生まれ変わる。 一般的には、あまり聞かない思想。
ムツキ	知られずとも事実であり、真実である。 ……イオンだけは、私だけの手では、
イオン	これからもお役に立ってみせます、 ムツキ。
ムツキ	そのイオンは、ラザロに作らせた。 私の知っていたイオンの記憶、 世界が記録したイオンの言葉——。
ムツキ	それを使って、疑似的にだが、 イオンのワンオフACTを 生み出してみた。
ムツキ	器があれば、中味が宿るか 思ったが——さすがに、 そこまで都合は良くないな。
ニーナ	……なぜ、貴方がそこまで？
ムツキ	私は、登場人物全員が納得できる ハッピーエンドを求める。 アイドルとは、そういうものだからだ。
ムツキ	だから——あの結末は容認できない。 私の意識が、お前の我慢と 犠牲に納得していない。
ムツキ	貴様は今、ひとりで立っている。 そんな現実を守って、 なんの意味があるというのだ？
ニーナ	現実の、意味……？
ムツキ	ちょっと世界が平和にできたからと、 諦める必要はない。 物語を過ぎし日の幻影にするな。
ムツキ	——必要なら、いくらでも手伝う。 だから、あいつの話を止めるな。
ニーナ	部外者ながら、感想を述べたい。 それは、貴方の意見であり、 生きかたの押しつけではないのか。
ムツキ	もしそうだったら、 私がひとりで納得できず、 滅びていけばいいだけの話だな。
ムツキ	……すまない。 勝手に話しすぎたな。
ムツキ	どうあろうと、 結局、お前の前にしか 『本物』は現れない、か……。
ムツキ	……………。 このイオンはお前にも使える。 興味があれば使ってみるといい。
イオン	お気軽にお使いください、 【ユーザー名】さん。

	A 僕の知らないイオンなんだね B はじめまして、ムツキのイオン
選択肢A	僕の知らないイオンなんだね
イオン	む？ 知らないとはどういう意味ですか 【ユーザー名】さん？
イオン	わたしはわたしですっ。 ムツキのACTの、 イオン＝ミルナですよ。
選択肢B	はじめまして、ムツキのイオン
イオン	あいさつがまだでしたか？ はじめまして、 イオン＝ミルナと申します。
イオン	わたしがお手伝いしますから 夏を楽しんでくださいね、 【ユーザー名】さんっ。
合流	
ムツキ	そいつは『ユーザーさん』と 呼んでやれ、イオン。 そのほうが慣れているはずだ。
イオン	おお、そうでしたか。 ではそのようにいたしますね！
ムツキ	……………。 残酷だな、私は。 だが、それでも……………。
ムツキ	……さらばだ。 また会ってくれ、 【ユーザー名】。
イオン	またお会いしましょうね、 ユーザーさんっ。
	//ムツキとイオン、退場。
ニーナ	話には聞いていたけれど。 天渡ムツキ—— 強烈で、強引な人。
ニーナ	彼女の意見は、ただの押しつけ。 だけど【ユーザー名】。 私は彼女の言葉を、理解はできる。
ニーナ	私は、原典では戦死した。 世界の喜びを味わえず、 求められる物語に殉じた。
ニーナ	しかしレイヤードでは、 このように原典とは異なる運命と、 幸福を享受できている。
ニーナ	水着で遊ぶのも、悪くない。 物語から離れることも、楽しい。 私は、ここではじめてそれを知った。
ニーナ	私は、可能性を得て、 生まれ変わった。 ここでは——。
ニーナ	——レイヤードでは、 運命は引っ繰り返ってても いいらしい。
ニーナ	貴方が新しい理想を願っても、 大きな問題は発生しない。 私は、そう思う。
ニーナ	……………。 私も、喋りすぎた。

ニーナ	せっかくのイベント、 他のシーンも楽しんでほしい。 この場では、私も付き合う。
ニーナ	貴方には、貴方を想う友人も、 貴方を手伝うACTもいる。
ニーナ	——忘れないで。 貴方の未来を。